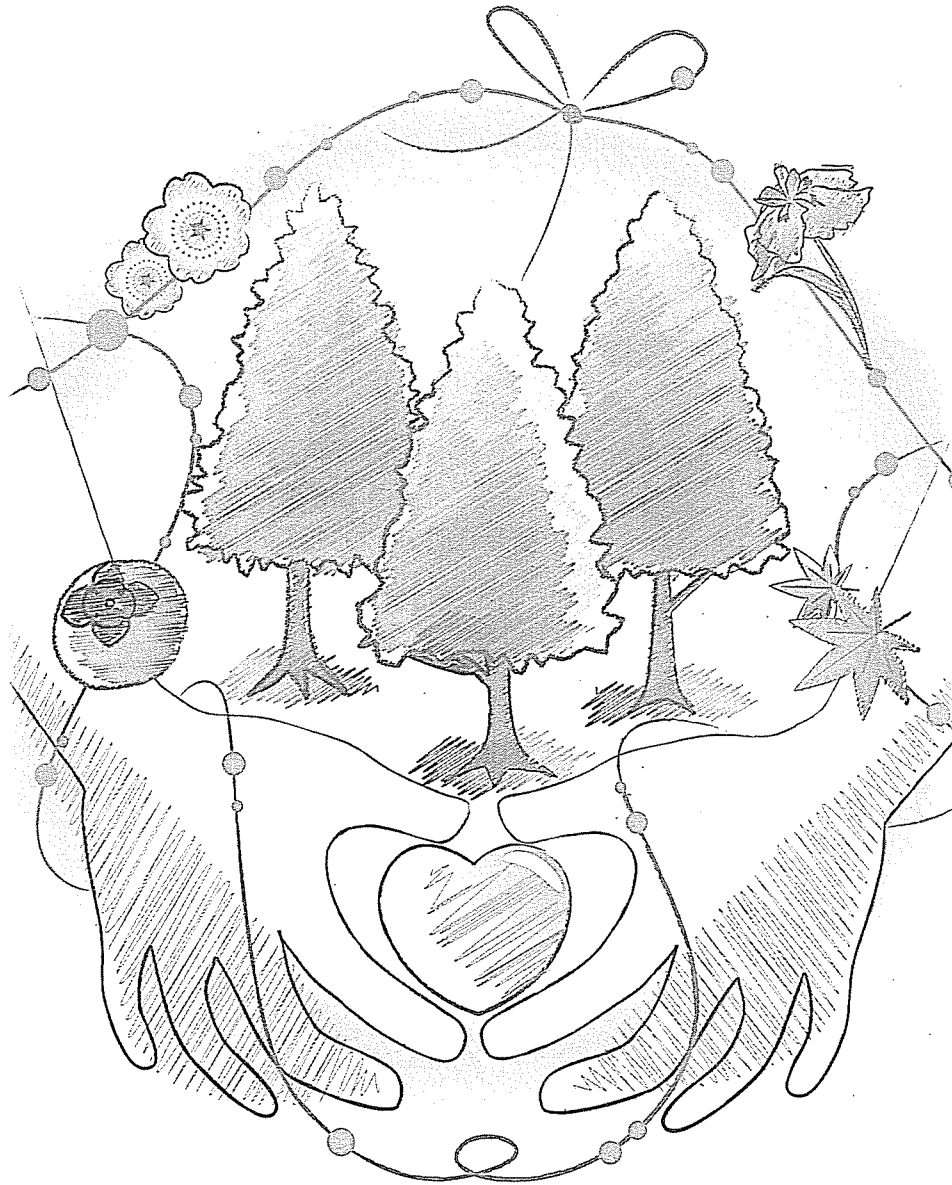


第34回 静岡県ボランティア研究集会

三木の里から つなげよう!! 今こそ「絆」



日時：2012年2月12日(日) 9:45～16:45

会場：森町文化会館「ミキホール」

主 催	特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会 公益財団法人静岡県労働者福祉基金協会
共 催	社会福祉法人静岡県社会福祉協議会 社会福祉法人森町社会福祉協議会
実施主体	第34回静岡県ボランティア研究集会実行委員会
後 援	静岡県・静岡県教育委員会・森町・森町教育委員会
助 成	静岡県議会ボランティア推進議員連盟

三木の里から つなげよう!! 今こそ「絆」

平成23年3月11日

東日本大震災の自然災害と
原発事故の人為的災害

多くの生命が失われ
自然が破壊され
人々の営みが崩された

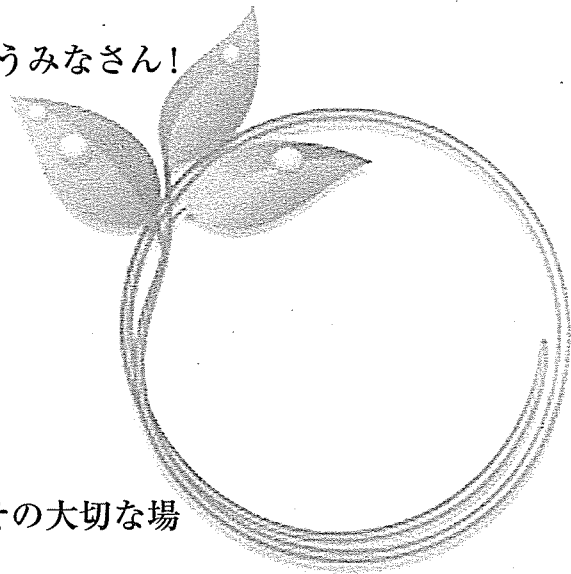
私たちは今
自分自身を
自分の考えを 自分の行動を
そして、自分と周りとの関係を
振りかえる時

家族の絆・・・
地域の絆・・・
仲間の絆が・・・
希薄になっていることが叫ばれてきたこの時期に
“きずな”ということについてみんなで考えてみよう

三木の里でのボランティア研究集会に集うみなさん!
「森町」の地名にちなんだ三木の里
どのようなイメージが創れますか?

草の根の活動の積み上げ・・・
心の大切さ
つながりの大切さ
文化の大切さ
自然の大切さ
今だからこそ、考えるとき、見直すとき、その大切な場
そして、新たな一歩を踏み出す時

根っこが張り
枝が伸び
力強い大きな木に成長していくよう
ボランティア活動の大切さ、その意味、やりがい、生きがいを伝えていこう!!!





プログラム

9:15～ 9:45
 9:45～10:00
 10:00～10:30
 10:30～12:00
 12:00～13:00
 13:00～15:45

受付
 オープニング
 開会式
 基調講演
 昼食・休憩
 分科会(8分科会)

8つの分科会に分かれテーマに基づき話し合いや情報交換を通して、互いのボランティア活動の学習とボランティア同士のネットワークづくりを図ります。

15:45～16:00
 16:00～16:45

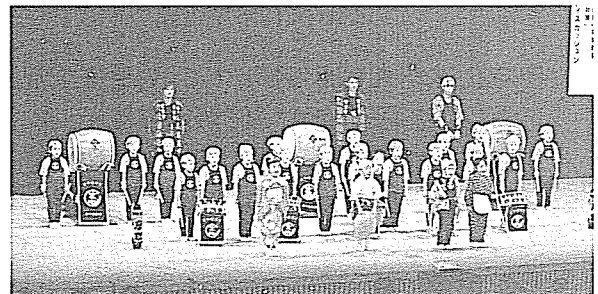
移動
 全体会・閉会式



オープニング

9:45～10:00

まや
 森町摩耶保育園
 園児による
 「祭りばやし」の演奏



開会式

10:00～10:30

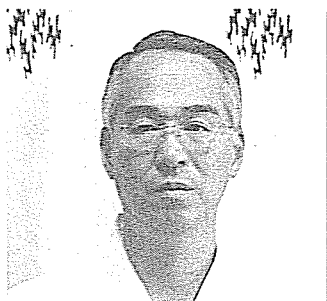
開 会 主催者あいさつ
 実行委員長あいさつ
 来賓よりご祝辞



基調講演

10:30～12:00

よみかえ 「甦れ日本の心」



講師 うちだ ぶんぽう 氏
打田 文博

おくに
 小國神社宮司

昭和28年8月28日、周智郡森町に生まれる。国学院大学神道学専攻科修了。昭和52年3月寒川神社奉職。昭和55年4月神社本庁に転任。神社本庁参事、神社本庁渉外部長、神道政治連盟事務局長を歴任。平成12年6月小國神社に転任。現職に、神社本庁評議員、静岡県神社庁理事、神道政治連盟幹事長など。

先の東日本大震災は、国の内外に大きな衝撃を与えました。

自然の猛威の前に、人間はいかに小さなものであることか……。また文明社会に生きるとは、そのリスクと共に生きること、絶対安全はありえないことなど多くのことを改めて学びました。

そして、復興には様々な力が必要ですが、最後は人間の精神力にかかっているのです。その日本の心ともいべき精神力を身につけるには、先人(歴史)に学ぶことが重要だと思えます。

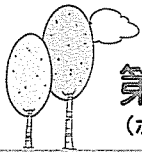
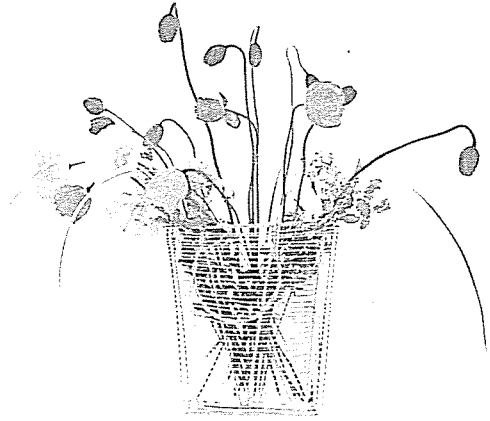


分科会

次の8分科会の中から、
ご希望の分科会をお選びください。

(第1希望・第2希望)

希望者が多い場合は調整させていただきますので
ご了承ください。



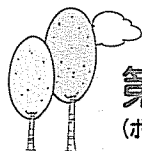
第1分科会 語ろう、あなたのボランティア (ボランティアを考える)



あなたは一人じゃない。いつもそばに誰かいます。
お互いがお互いを大切に想いながら、幸せに暮らせる社会であることを願い、
私たちはボランティアに参加しています。
その想いを未来につないでいくために、
みなさんとボランティアについて語り合しましょう。

討議の柱：①“ボランティア”大切にしていることは……
②個々の思いを、広げていくためには……

助言者：見野 孝子 (NPOライフケア浜松理事長)



第2分科会 考えよう! 魅力ある活動、グループって (ボランティアの人材発掘・育成)

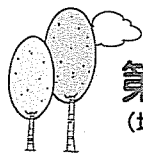


(定員:20名)

「メンバーが固定化されている」「高齢化している」
「新しい仲間や若い世代の参加がほしい……」など、
活動していく上での悩みや課題はありませんか？
“ボランティアグループ”として元気であるためには、“グループとしてのあり方”が問われます。
周りの人から見て、魅力ある活動とは？ グループとは？ 団体とは？
自分たちの力を高めていくためにはどのようなことが必要でしょうか？
参加者の経験や意見をまとめながら進めていきます。
今後の活動のヒントが見つかるでしょう!

討議の柱：①仲間を増やすための環境づくりは……
②活動を次代につなげていくためには……

助言者：小野寺郷子 (しずおかNPO市民会議代表/会議ファシリテーター普及協会副会長)



第3分科会 (地域づくり・伝統文化)

大震災からの地域の再生 ～人の暮らし、町、文化を取り戻すために～

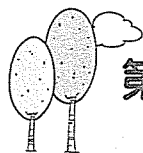


大震災は容赦なく大切な家族、家や財産、仕事、地域まで奪い去っていきました。人は全てを失った時、何をよりどころとして生きていったらよいのでしょうか？
災害がおこらなければ、何気ない日常が続いていたはず。そして、学校から、勤めから、旅から帰った時、いつもと変わらぬ町並みの中で「おかえり」という、自然なひとことに自分の居場所を感じられていたはずです。
人の暮らし、町、文化とは何か。文化を守っていくとはどのようなことを指すのでしょうか。大震災からの地域の再生を考えます。

シンポジウムと大槌町・森町に伝わる伝統芸能紹介

●静岡県立遠江総合高校郷土芸能部 ●岩手県大槌町鹿踊

シンポジスト：白澤 良一 (まごころ広場うすざわ代表/岩手県大槌町にて被災)
齋藤 正宏 (遠野まごころネット事務局)
打田 文博 (小國神社宮司)
コーディネーター：日詰 一幸 (ライフサポートセンターしずおか会長/静岡大学人文学部教授)



第4分科会 (災害)

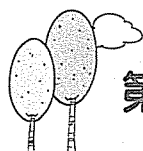
災害から自分を守る 地域を守る 災害時のボランティアのあり方 - 私たちは何をするか -



千年に一度といわれる大規模な東日本大震災を目の当たりにして、地震災害に対する我々の考え方が根本から変わった。今後30年以内に東海・東南海・南海地震が連動して起きる可能性があります。台風、集中豪雨等の自然災害被災も考えるとますますボランティアの役割が重要となって来ます。この機会にボランティアの一人として幅広く意見交換をしてみましょう。

討議の柱：①災害から自分と地域を守る減災について考えよう
②災害時のボランティアのあり方について考えよう

助言者：白鳥 孝太 (公益社団法人シャンティ国際ボランティア会緊急救援担当)
事例提供者：NPO法人遠野まごころネット
松山 文紀 (日本財団ROADプロジェクト事業担当)



第5分科会 (小地域福祉)

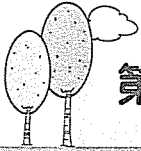
ともに支えあう小地域福祉



少子高齢化や核家族化などの社会状況のなかで、東日本大震災では人と人とのふれあいが大事であることに気づかされました。誰もが住み慣れた地域で安心して生活できる地域を目指し、身近な生活の場で起こる様々な問題に対して、地域住民の方とともに力を合せてボランティアとして自分に何ができるかを考え、小地域福祉活動を進めていきたいと思いますか？

討議の柱：①自治会単位をイメージしながら地域の現状を知り課題(ニーズ)を考える。
②ボランティアとして自分が今できること、今後、取り組みたいことを話しあおう。

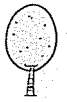
助言者：岡本 一夫 (愛知教育大学非常勤講師)



第6分科会

(精神障がい)

こころの障がい、見えない障がいを理解しよう!



こころの障がい……、こころを病むってどんなことでしょうか?

時代の急速な変化、また環境の変化により、この病に悩む人が年々増えています。

私たち地域住民は、こころの病をもつ方を、どのように理解し、接していけばよいでしょうか。

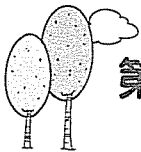
こころの病について理解を深めましょう。

討議の柱：①「こころの障がい」とは

②こころの障がいをもつ人に、私たちはどのように地域で関わっていきますか

助言者：菅原百合子（磐田市障害者相談支援事業所相談支援専門員）

事例提供者：名倉 正義（すすらん共同作業所可睡サービス管理責任者）

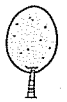


第7分科会

(健康1)

生き生きと暮らすための健康づくり

—ボディートークの体験を通して—



あなたの心と体をふんわりと温かく包みましょう。

(定員:40名)

ボディートークはいつでもどこでも誰にでもできる体ほぐし、心ほぐしの運動です。毎日の生活にも役立つ一人ほぐし、家族とのコミュニケーションにも役立つ二人ほぐしなど、いろいろな動きがあります。体がぼかぼかになり、リラックスしてきます。人のぬくもりの中で、温かく包まれるひと時を過ごしてみませんか。そして今後のボランティア活動に少しでも役立つことができればと願っています。

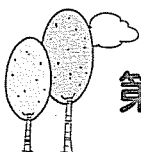
※運動のできる服装で参加してください(タオル・飲み物も)。

討議の柱：①ボディートークで心と体のリフレッシュ (体験)

②健康づくりについて日常の取り組みは (話し合い)

助言・インストラクター：増田 明（ボディートーク協会会長）

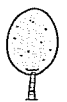
事例提供者：森町ボディートークを楽しむ会



第8分科会

(健康2)

老化を老華にするための学習会



近年の高齢化社会の到来に伴い、認知症、寝たきりなどの加齢関連疾患の増加が社会問題になっています。

体を動かし、人と接するボランティア活動は、それを予防する大きな方策となり得ます。

最先端のアンチエイジング医学(老化防止)を学ぶと共に、ボランティア活動を行う事が、老化防止にも役立っていることを学習します。

討議の柱：①老化防止の基本は食生活です。普段何気なく食べている食事をもう一度見直しましょう。

②ボランティア活動と老化防止、一石二鳥の“ボランティア効果”をもっとPRしよう。

助言者：北川 勝二（森町病院事務局長）

事例提供者：西尾 正行（森町病院診療技術部長兼薬剤科長・日本抗加齢学会認定指導士）

第34回 静岡県ボランティア研究集会

静岡県内でボランティア活動・市民活動に関心を持つ人たちや実際の活動に参加している人たちが一堂に会し、情報の交換や話し合いを通してお互いの活動に関する学習とボランティア同士のネットワーキングの機会を積極的につくることを目的に開催します。

1. 日 時 2012年(平成24年)2月12日(日) 9:45~16:45
2. 会 場 森町文化会館「ミキホール」(周智郡森町森1485)
3. 対 象 ボランティア・市民活動に関心のある方ならどなたでも
4. 定 員 350人
5. 参加費 一 般 1,000円 ・ 学生 500円
・参加費は資料代及び運営費の一部としていただきます。
・参加費は、参加申し込み後、主催者より「参加案内」が届きましたら、指定の方法でお支払いください。
・お支払いいただいた後に参加をキャンセルされた場合、参加費の返金はできませんのであらかじめご了承ください。
※昼食は各自で用意ください。
また、当日の朝、業者によるお弁当の注文を承ります。(700円 お茶つき)
※交流会に参加される方は、交流会費が別途(1,500円)かかります。
6. 申 込 み 所定の参加申込書に必要事項をご記入の上、静岡県ボランティア協会まで郵便またはFAXにてお送りください。
7. 締 切 り 2012年1月23日(月)
※定員になり次第申し込みを締め切らせていただきます。
※希望者が多い分科会については、事務局で調整させていただきますので、ご了承ください。
8. そ の 他 ・ 介助が必要な方がいらっしゃいましたら、予めお申し出ください。
(手話通訳・要約筆記)
・ 基調講演の内容やすべての分科会で話し合われた内容をまとめた「第34回静岡県ボランティア研究集会報告書」を希望者へ販売いたします。購入を希望される方は、集会当日にお配りする申込書にご記入ください。

問合せ先

特定非営利活動法人 静岡県ボランティア協会

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館2階
TEL:054-255-7357 FAX:054-254-5208 e-mail:evolnt@mail.chabashira.co.jp

社会福祉法人 静岡県社会福祉協議会

〒420-3670 静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館3階
TEL:054-254-5224 FAX:054-251-7508 e-mail:volucen@shizuoka-wel.jp

社会福祉法人 森町社会福祉協議会

〒437-0215 周智郡森町森50-1 森町保健福祉センター内
TEL:0538-85-5769 FAX:0538-85-1294 e-mail:csw-mori2@po4.across.or.jp